

## 策定趣旨

### [位置付け]

- 新たな県政運営の指針となる最上位の計画として策定。
- まち・ひと・しごと創生法に基づく地方版総合戦略として位置づける。

### [計画期間]

4年間（2026～2029年度）

## 基本理念（県政を推進する上での基本的な考え方）

- 多様な個性と自由な発想が息づく、包容性に富んだ寛容な地域社会をつくる。
- 失敗を恐れず挑戦し続ける精神が宿り、新たな価値が創造される地域社会をつくる。
- 不安なく心穏やかに安心して過ごすことができ、この先もずっと住み続けたいと思える地域社会をつくる。

## 目指す秋田の姿（基本理念のもとで形づくる秋田の理想像）

- 再エネや森林資源など、全国トップクラスの本県の強みを“更なる高み”まで引き上げながら、県民の豊かさに変えていく。
- 本県の豊かな文化や人づくりの土壌を、次の世代にしっかりと引き継いでいく。
- デジタル技術等も活用しながら、少子高齢化などの“課題先進県”として、全国の先頭を切って対応していく。
- 人口減少の大きな流れは避けられないが、県全体で知恵を絞りながら、本県を取り巻く様々な環境の変化にしなやかに対応し、県民が安心して暮らし続けられる地域を残していく。

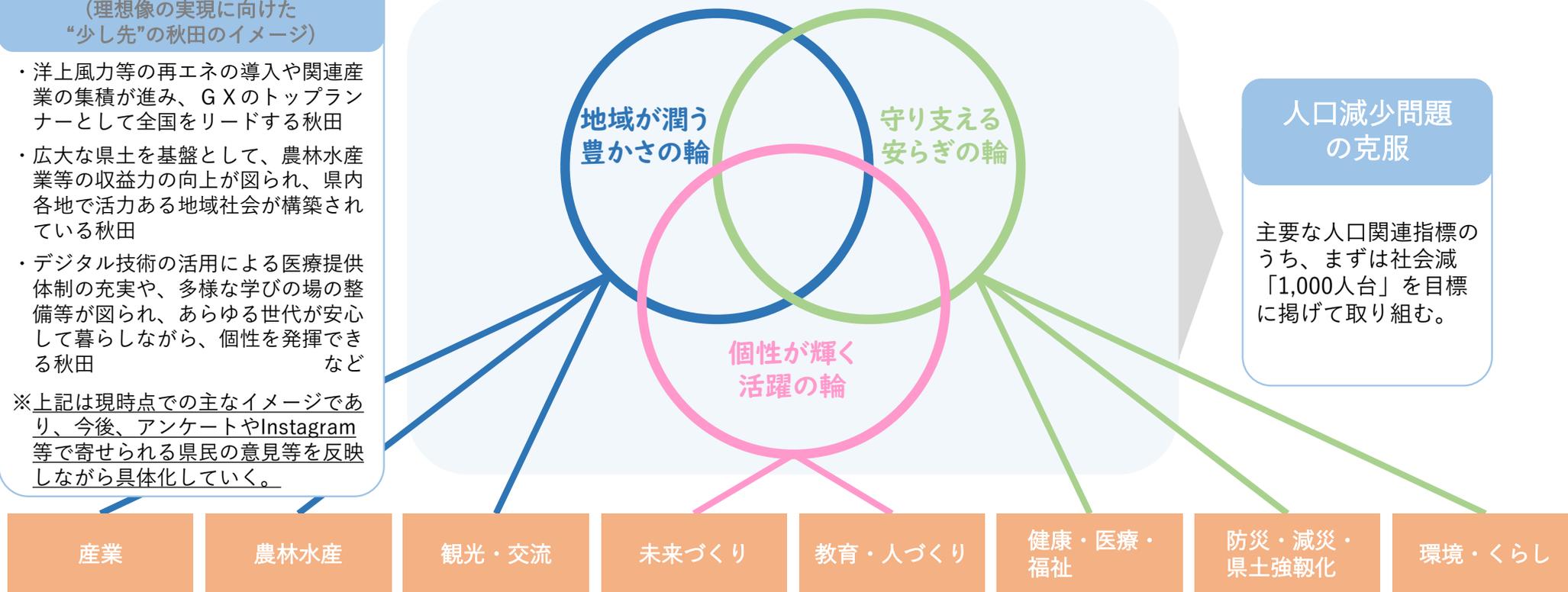
## 2040年の秋田

（理想像の実現に向けた  
“少し先”の秋田のイメージ）

- ・洋上風力等の再エネの導入や関連産業の集積が進み、GXのトップランナーとして全国をリードする秋田
- ・広大な県土を基盤として、農林水産業等の収益力の向上が図られ、県内各地で活力ある地域社会が構築されている秋田
- ・デジタル技術の活用による医療提供体制の充実や、多様な学びの場の整備等が図られ、あらゆる世代が安心して暮らしながら、個性を發揮できる秋田 など

※上記は現時点での主なイメージであり、今後、アンケートやInstagram等で寄せられる県民の意見等を反映しながら具体化していく。

## 2040年の秋田を見据えて4年間で取り組む政策の構成



### 【計画の推進に当たって】

- ・県民の意見の反映
- ・マーケティング視点の導入
- ・政策等評価制度による進捗管理 など